

議員提出議案第6号

東京外かく環状道路工事におけるシールドマシンの安全確保対策を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和8年6月12日

提出者	杉並区議会議員	富田	たく
	同	松本	浩一
	同	ブランシャール明日香	
	同	赤坂	たまよ
	同	てらだ	はるか
	同	松尾	ゆり
	同	山本	ひろ子
	同	山田	耕平
	同	井口	かづ子

杉並区議会議長 木梨 もりよし 様

東京外かく環状道路工事におけるシールドマシンの安全確保対策を求める意見書

東日本高速道路株式会社が建設する東京外かく環状道路の大泉側本線(南行)シールドトンネル工事において、令和8年1月20日、掘進中であつた南行きシールドマシンのカッター部を回転させる大ギヤ付近から異音が発生し、大ギヤに損傷が確認された。

現在も原因の調査が続いているが、大ギヤの23か所に損傷があり、その回転を支持するベアリングの約70%が損傷していると公表されており、大規模な損傷事故である。事業者によれば、定期点検では異常が確認されていなかったにもかかわらず損傷が発生しており、予兆がないまま重大な事故が発生したことは、安全管理上の大きな課題である。

また、大ギヤはシールドマシンの重要な構成部品であり、損傷の状況によっては地上から開削して修理を行う必要が生じる可能性が否定できない。令和4年には同じシールドマシンが大泉地区でカッターヘッドを損傷し、地上から開削して修理した経緯もあることから、杉並区内においても同様の事態が発生することが懸念される。

さらに、事故原因が特定されていない中で、同様の機構を持つ北行きシールドマシンの掘進が継続されており、住民の不安は大きい。加えて、現時点において住民説明会も開催されておらず、十分な情報提供がなされているとは言い難い状況である。

よって、区民の安心・安全を図る観点から、杉並区議会は、次の事項を強く求めるものである。

- 1 大ギヤ損傷事故の原因究明及び再発防止対策を十分に行うこと。
- 2 現在掘進中の大泉南工事(北行)シールドマシンについて、詳細かつ十分な点検を実施し、その健全性を確認すること。
- 3 同様の事故を防ぐため、予兆管理を可能にする実効性ある安全対策を講じること。
- 4 今回の事故の概要、原因究明の状況、補修方法、地表面への影響の有無等について、速やかに住民説明会を開催し、住民への十分な情報提供を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和8年6月12日

杉並区議会議長名

国土交通大臣 宛